



支援連携だより R5・3号
令和6年 3月 7日
小田原支援学校 支援連携部
題字:高 A2年生徒作品

僕の名前は
「だよりん」で～す。

「プラネタリウム」がおこなわれました

1月 18 日(木)に一般社団法人星つむぎの村の方をお招きし、体育室にドームを設置してプラネタリウム体験をしました。7mのドームの中に入り、プロジェクターで星空が映し出されると、子ども達は一瞬で夢中に！十二星座を映し、「やぎ座は○○さんの星座ですね」など該当する星座で自分の名前が呼ばれたり、木星が近づいてくるのをみんなの手で押し返したりと、あっという間の 20 分でした。暗がりの中に入るのをためらう児童・生徒もいましたが、出てくる時には総じて満足そうな顔になっていたのが印象的でした。星つむぎの村の皆様、ありがとうございました！



学部の取り組み紹介 中 A



- ・生徒個々のニーズに合わせた課題を用意しています。写真①
- ・主体的に自分の課題を手に取れるように環境設定を行っています。写真②
- ・主体的に報告（課題の終了）ができるように環境設定を行っています。写真②③
- ・生徒のニーズに合わせた支援を心がけています。写真②（報告音声が流れるボタンや報告のセリフを提示）
- ・日常的に月日や時間の概念、日課等を視覚的に意識できるようにしています。写真④



③



生徒にとってわかりやすい環境

集中できる環境

「やってみたい」と思える環境を目指しています。

ぜひ、見学に来てください。

「臨床心理士」の紹介

自立活動教諭としての役割は、1) 自立活動の指導への指導助言、2) 個別教育計画の作成・評価への参加等、3) 地域の小・中学校への巡回相談等による教育相談への対応となっています。

また自立活動医事相談やブロック内活用、外部機関とのセラピストの方々と様々な連携をはかっています。ここでは、担任、教育相談Co、栄養教諭、看護師、車椅子業者など、校内支援の相談例をいくつかご紹介します。保護者の方からのご相談も、隨時お受けしますのでお気軽にご相談ください。

環境設定

- 子どもたちが授業に参加しやすいように、教室の環境を担任と考えます。
- 授業の内容や進め方も担任と一緒に考えます。

行動観察

- 子どもたちの得意なところを伸ばし、苦手なところをカバーできるよう子どもたちの普段の様子を見ています。

保護者相談

- 保護者の方々からも相談をお受けしています。
- ご家庭や学校での様子の事について、担任と協力しながら一緒に考えていきます。

デジタル機器を使った教材の作成や活動

- ipadやスイッチ、視線入力機器を使って、子どもたちの意思を引き出す活動をしています。

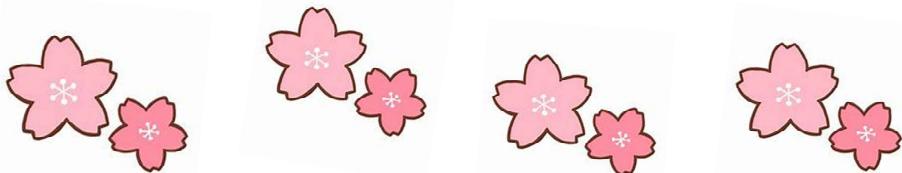
他専門職との協働

- 本校理学療法士はもちろん、他校の言語聴覚士、作業療法士とも連携しています。
- 県立総合療育相談センターの専門職のコーディネートをもしています。

地域の幼・小・中・高校への巡回相談

- 地域の子どもたちへの支援のために、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に助言をしています。

編集後記



卒業式が近づいてきました。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今までの学び、経験を次のステージで活かし、一人ひとりが輝けるよう願っております。在学生のみなさんは、体調に気を付けて楽しい学校生活を送りましょう。1年間、「だよりん」をご愛読いただきありがとうございました。来年度も皆様に小田原支援学校の「進路支援、相談支援、自立活動」に関する情報を発信します。また、各部門・学部の取り組みも紹介します。私たちが発信する情報が皆様のお役に立てればと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

